

## 富山県で初記録のアシダカゲモ

著者	根来 尚
雑誌名	富山市科学博物館研究報告
号	32
ページ	113-114
発行年	2009-02-25
URL	<a href="http://repo.tsm.toyama.toyama.jp/?action=repository_uri&amp;item_id=891">http://repo.tsm.toyama.toyama.jp/?action=repository_uri&amp;item_id=891</a>

短 報

富山県で初記録のアシダカグモ\*

根来 尚

富山市科学博物館

939-8084富山市西中野町1-8-31

**New Records of *Heteropoda venatoria*  
in Toyama Prefecture**

Hisashi Negoro

Toyama Science Museum

1-8-31 Nishinakano-machi, Toyama 939-8084, Japan

アシダカグモ, *Heteropoda venatoria* (Linnaeus, 1758), は本州以南に分布し徘徊性のクモとしては日本最大の種で, 屋内に見られゴキブリの天敵としても知られている。本種は, 富山県では, 安念 (1939, 1940a, 1940b), 坂下 (1955) の目録に登載されているがそれに相当する個体は残されておらず, また, 近年富山県内でのアシダカグモの観察採集例は無く確実な確認はできていなかった。坂下の目録中蜘蛛類部分は, すべて安念の協力によったものと考えられ (徳本, 2008) るが, 各種の分布についてコメントが付されており, アシダカグモには「立山, 称名徘徊」と記されており, コアシダカグモを誤認したものと考えられる (徳本, 2004)。また, 関口 (1943), 大川 (1975) でも富山県が分布県とされているが, これは安念 (1940a) によったものであり, 結局, 富山県でのアシダカグモの記録はコアシダカグモの誤認であって消されるべきものである (徳本, 2004)。本種の特に分布北限近くの記録には注意が必要であろう。

本種が, 以下のように富山県内で採集されているので報告する。

1. アシダカグモ♂, 2005年9月28日, 小杉町太閤山, 松木克人採集  
新築の住宅の屋内で発見された。関西から富山に引っ越してきたとのことで, 荷物とともに運搬された可能性が高い。
2. アシダカグモ♀亜成体, 2008年8月22日,

富山市上袋

警察より鑑定依頼をうけたもので, 飲食店の裏軒下をブルーシートで囲んだ所で発見されたとのことである。食料品の荷物などともに運搬された可能性が高い。

このように2例とも移入された個体の可能性が高いものである。おそらくこのような個体の移入は度々あるのであろうが, 発見通報される頻度はまだたいへん少ないことから, 定着までにはまだ至っていないものと思われる。徳本 (私信) によれば, 金沢市においてもまだ定着にはいたっていないようだとのことである。今後の推移を注目したい。

本報告を作成するにあたり, 金沢市の徳本 洋氏には, 標本の同定, 文献類のご教示等たいへんお世話になりました。厚く御礼申し上げます。

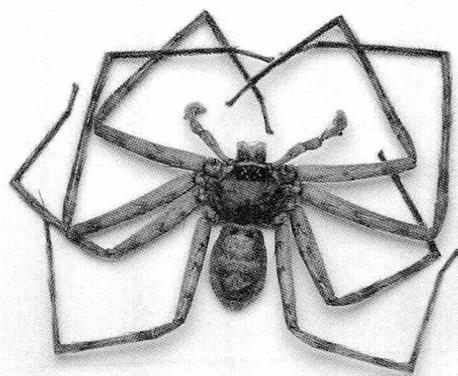


図1 アシダカグモ♂

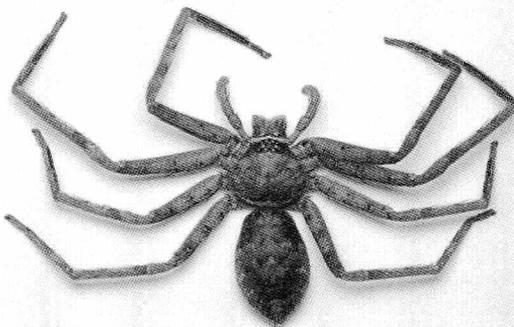


図2 アシダカグモ♀亜成体

\* 富山市科学博物館研究業績第366号

文 献

- 安念嘉一, 1939. 富山県産の蜘蛛類について (第一報).  
富山教育, (301): 21-26.
- 安念嘉一, 1940a. 富山県産蜘蛛類目録 (予報). *Acta Arachnologica*, 5(2): 86-91.
- 安念嘉一, 1940b. 富山県産蜘蛛類の研究. 富山県博物学会誌, (3): 39-49.
- 大利昌久, 1975. わが国におけるアシダカグモの地理的分布. 衛生動物, (6): 255-256.
- 坂下栄作, 1955. 「富山県動物目録」(謄写印刷, 自刊) 192pp.
- 関口晃一, 1943. アシダカグモ *Heteropoda venatoria* Linnaeus の生活史について (上). *Acta Arachnologica*, (8): 66-73.
- 徳本 洋, 2004. アシダカグモ分布記録へのコアシダカグモ属の種の誤入. *KISHIDAIA*, (86): 1-9.
- 徳本 洋, 2008. 富山県におけるイソコモリグモの絶滅. *KISHIDAIA*, (94): 15-22.